

## アカツクシガモ

*Tadorna ferruginea* (Pallas)カモ目  
ANSERIFORMESカモ科  
Anatidae

## カテゴリー

大分県 IA  
環境庁 情報不足

選定理由 日本国内への飛来数が極めて少なく、県内の飛来記録もわずかしかない。

県内分布 干潟、湿地にごく希に飛来する冬鳥。

分布域 中部地方以南、主に九州に飛来する希な冬鳥。  
中国内陸部で繁殖。中国南部以南で越冬。生息環境 内陸の湖沼、河川、干潟、広い水田などに希な冬鳥として飛来する。  
畑や乾燥した場所で草を食べる。

現 状 全国的に飛来する頻度や数が極めて少ない。県内では、宇佐、杵築、大分で観察された記録がある。

## ツクシガモ

*Tadorna tadorna* (Linnaeus)カモ目  
ANSERIFORMESカモ科  
Anatidae

## カテゴリー

大分県 IB  
環境庁 IB

選定理由 日本の主な越冬地は九州北部で、100羽以内である。大分県に飛来する頻度や数は少なく、採餌場所である干潟が埋め立てや河川改修などにより悪化し、その面積も減少している。

県内分布 海岸部の干潟及び湿地に希に飛来する冬鳥。

分布域 九州で冬鳥。中部以南では希な冬鳥。  
中国東北部で繁殖。中国南部で越冬。

生息環境 河川河口部、湖沼、干潟や湿地に生息し、甲殻類、海藻類などを食べる。

現 状 中津、西国東、杵築、大分、日田で毎年数回の観察記録がある。

## オシドリ

*Aix galericulata* (Linnaeus)カモ目  
ANSERIFORMESカモ科  
Anatidae

## カテゴリー

大分県 II  
環境庁 掲載なし

選定理由 東アジアが主な生息地で、その中でも日本での越冬数が半数を越す。県内には3,000羽以上が越冬するが、これは本種の総個体数の約6%に相当する。近年、里山の開発などにより森林が減少し、主な生息地である暗いため池や溪流の消滅が懸念される。

県内分布 丘陵地から山地のため池、ダム湖、森林地帯の溪流で越冬。少数が森林地帯で繁殖。

分布域 北海道、本州北部では夏鳥、琉球諸島以北で繁殖するが、本州中部以南では主に冬鳥。  
日本と中国東北部、ウスリーで繁殖。日本と中国南部、台湾で越冬。

生息環境 丘陵地から山地のため池や森林地帯の溪流沿いと、その周辺の森林に生息する。水面に樹木が張り出たようなやや薄暗い水面を好み、開けた水面にはあまり出てこない。夕方になると、餌場となる森林地帯に飛んで行き、カシやシイなどの木の実を食べる。

現 状 近年、住宅開発などの里山の開発により、ため池や周辺の森林が減少している。

備 考 1996年版の国際自然保護連合レッドリストでは準絶滅危惧種であったが、2000年版には掲載されていない。